

# 八峰コミスク通信

令和3年度  
第8号  
R3/9/24  
CSレター  
工藤

## Dのあっちこっち見聞録

※見ていないの也有ります。ごめんなさい。

### 八森小学校編

#### ●親子でジオパーク

9月4日(土)午前中行われた「親子でジオサイト」。『山一三十釜』『海岸』の3つのジオパーク・ツアーに、児童と保護者合わせて約160名が参加しました。

ジオパークは、「地球・大地を意味するジオ」と、「公園を意味するパーク」とを組み合わせた言葉で、ジオサイトはその見どころの場所です。八森小学校では、全校を挙げてジオパーク学習に取り組み、この機会に保護者にもジオパークを理解してもらおうと企画しました。初めてジオサイトを訪れたという保護者も多く、地元のことを知る良い機会になったと思います。



●3年生の峰浜梨学習  
毎年、3年生は峰浜梨について学習するとともに、峰浜梨のPR大使という重要な役目も担っています。今年も峰浜梨のPRノボリが国道沿いに6本立ちました。青



空に映えて最高のPRになっています。見た人は思わず買っちゃいますよね。梨農家にとっても心強いエールとなっています。

#### ●4・5年生の自然体験学習

9月7日(火、水)、あきた白神体験センターを利用して、4年生は9日のみの日帰り体験学習を、5年生は宿泊体験学習を行いました。

初日は、両学年で里山での自然観察、日本海でのシーカヤック&海水浴を体験し、翌日、5年生は十二湖での自然観察会、マイはしづくりを体験しました。子どもたちは、今回の自然体験学習を通じて心の洗濯ができたようでした。八峰町の自然環境の豊かさをいつまでも覚えていて欲しいですね。



### 八峰中学校編

#### ●八峰中祭

9月5日(日)『盛々堂々 一人一人が自信をもって』をテーマに、第6回八峰中祭が行われました。もちろん、新型コロナウイルス対策を行っての開催です。

八峰中祭ストーリー、英語弁論、合唱コンクール、吹奏楽部演奏、ステージ発表、クラスパフォーマンスなどを通して、3年生の熱い想いが伝わってくる学校祭でした。目を引いたステージが2つ。一つは、吹奏楽部員と保護者有志との合同演奏ステージ。部員数が少ない吹奏楽部のために、9名の保護者等の方が協力を申し出ました。こういう形はアリですね。



### 八森小学校の授業参観

9月22日(水)教育委員会の八森小学校訪問に相乗りする形で、当コミュニティ・スクール委員の研修会(授業参観)を行いました。新型コロナウイルス感染予防の観点から人数を絞り、結果4名が参加しました。

委員の感想です。

「タブレット等への文字入力は、子どもによって差があった。家庭で練習できればいいのに」。「タブレット等への入力が上手くできれば、入力ストレスが少なくなり、授業もスムーズに進む。でも学校には余裕はないと思う」。「机が小さいので、教科書とタブレット等を置くのに不便そう」。「今の子どもたちは、きちんと授業を聞いて、理解して、こなしているように見える。(昔の私たちから見ると)本当に理解できているのだろうかという一抹の不安も」。「都市部に比べれば、子どもたちは授業に集中できている。支援員もいて勉強で置き去りになる子どもは少ないと思う」。貴重な意見でした。



もう一つは、石川郷土芸能保存会の中学生8人による石川駒踊りの披露。保存会の大人の方もお囃子や着付け等を担当して舞台を成功させました。中学生が、同じ中学生の前で堂々と石川駒を演じたことが素敵でした。そして見事でした。地域が協力して作り上げたステージだったので、とても感動しました。

